

ぞれ議員選出母体が異なっていたり、機能が截然と分かれていたりしており、わが国のように二院が同様の選挙制度を採用する国は少ない。

われわれは現今の二院制の存在意義を敢えて俎上に載せ、一院制の下、「国民の最大の公益を提供する議会政治」の創造のため立ち上がることを決意した。

衆参両院を廃して新たに生まれる国民議会は審議をはるかに迅速化でき、また充実した議論のためには審議時間をしっかりと確保し、内外の政治課題に今まで以上に臨機応変、的確かつ迅速な対応ができる。

衆参両院の優れた機能を兼ね備えた新『国民議会』を構築し「改革と活力に満ちた国政」を実現しなければならない。われわれ国会議員有志は、今こそ大胆な発想で真剣かつ速やかに議論を推し進め、幅広い国民の理解と賛同を得て、一院制の新『国民議会』を創ることを目的とした議員連盟をここに結成する。

衆参議員諸氏の多数の参加を願うものである。

平成二十年五月十六日

呼びかけ人 衆議院議員 衛藤征士郎

〃 太田誠一

〃 中馬弘毅

〃 宮路和明

参議院議員 谷川秀善

衆参両院を統合し、一院制の 新『国民議会』を創設する 議員連盟

設立趣意書

国鉄をはじめとする国・公営事業の民営化、地方分権の推進と道州制に向けた府県統合、公益法人制度改革、中央省庁の再編、公務員制度改革等々、時代を画する構造改革、制度改革が次々と進展する中で、国権の最高機関たる「国会の改革」が旧態然としたままで大きく立ち遅れている。

このため、われわれ衆参国會議員有志は、これまでの衆参両院を廃し、新たに国民のための「一院制議会」を創ることをここに提唱する。

二院制のあり方が問われて久しい。両院において委員会の構成、審議のやり方はほぼ同じで、しかも内容においても審議は反復に終始し、議会議務局、衛視に至るまで夫々が独立して存在するなど、あまりにも重複している。

二十一世紀に入り、世の中のスピードがすべてにわたって過去と比べものにならないほど早くなっているにもかかわらず、一刻を争うはずの国政上の課題が二度にわたる国会審議で遅滞し、国民の背負うコストは膨大なものになっている。これらの機会損失を含め、国家国民の損失は両院による二重チェックや慎重審議の利点をはるかに上回るものと言わざるを得ない。

列国議会同盟に参加する約百八十ヶ国のうち四分の三の国々が一院制のもと、国政を運営している。

サミット参加の主要七ヶ国は、いずれも二院制だが、それ